

けんばくものシリシート

なん ぶ てつ

南部鉄

ねん かつ
2013年3月
れき し
歴史一 No. 6

瓶



ふた

つる

つぎ口



うらめん
裏面

うまの ず てつびん
馬図鉄瓶

さくしゃ すずき もりひさ だい
作者 鈴木盛久(12代)

めいじ じだい
明治時代

いわてけん むかし
岩手県では昔からたくさんとれる鉄をとかしていろ

いろいろのものを作つきました。

とくさんひん ひと なんぶてつき もりおかし おうしゅうし つく
特産品の一つである南部鉄器は、盛岡市と奥州市で作
られています。その代表的な物が「鉄瓶」で、やかん
のようにお湯を沸かす道具です。

しゃしん うまの ず てつびん めいじじだい ねん ねん つく
写真の馬図鉄瓶は、明治時代(1868年~1912年)に作
られたものです。馬図鉄瓶をもっとよく見てみましょう。
鉄瓶は、お湯を注ぐ口を右に向けると正面になります。
馬が3頭いますね。その裏面には馬がお尻を向けています。

もりおかし
盛岡市



おうしゅうし
奥州市

てつびん このような鉄瓶はどのようにして作られているのでしょうか。

つく てつびん かたち てつびん だんめん
①作りたい鉄瓶の形をもとに、鉄瓶の断面
はんぶん おお かた きがた き いた
を半分にした大きさの型「木型」を木の板や
てっぱん つく そとがた
鉄板で作ります。



きがた かいてん そとがわ かた
②木型を回転させて外側になる型
そとがた ねんど すな つく
「外型」を粘土と砂で作ります。

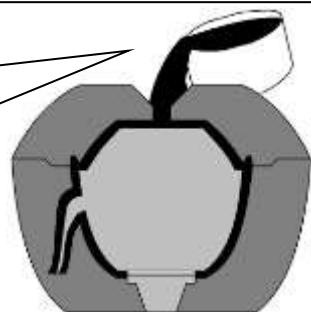


てつびん なか くうどう そとがた
③鉄瓶の中を空洞にするために、外型よりも
ちい かた なか ご つく そとがた あ
小さい型「中子」を作り、外型と合わせます。
くち べつ つく そとがた なか う こ
つぎ口は別に作り、外型の中に埋め込みます。

そとがた なか ご
④外型と中子のすきまにドロドロに
てつ なが こ ひ かた
とけた鉄を流し込み、冷えて固まつ
かた
たら型からはずします。



そこ ほう
底の方からとけた
てつ なが こ
鉄を流し込む



ひょうめん ちやくしょく
⑤表面をきれいにして着色し、つるとふた
を付けたらできあがります。

さんこう
参考



もよう てつ なが こ まえ そとがた
模様は鉄を流し込む前に、外型に「へら」とい
う道具でつけます。へらを土に押しつけて、土
を少しへこませて模様をつけています。

へら
こじんぞう
個人蔵

さんこう ほん
参考にした本 『美術鑄物の手法』アグネ 1983年

らいげつ がつ
来月(4月)の
けんぱくものしりシートは
みんぞく
民俗一6だよ！
おたのしみに！



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
<http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/>